

令和元年9月10日

「令和元年度森林林業振興助成事業」の選考結果について

(一財) 日本森林林業振興会
会長 沼田 正俊

一般財団法人日本森林林業振興会は、森林・林業の振興及び山村地域の活性化に寄与する優れた調査研究活動、技術開発、モデル的な取り組み等に対し、当該取り組み等に必要経費の一部を助成する「森林林業振興助成事業」を実施しています。

その第3回目として、令和元年度(令和元年7月～令和2年6月)の公募を実施したところ、継続4件、新規2件の計6件の応募がありました。それぞれの申請内容について、学識経験者を含む選考委員会を設置し厳正に審査を行った結果、下記の各事業の令和元年度事業計画について助成対象とすることを決定しましたので、お知らせします。

記

1 既採択事業の継続実施

- 1) 積雪寒冷地域におけるスギコンテナ苗短期生産技術確立のための実証事業
＜一般財団法人 地域森林整備集団＞
- 2) ニホンジカを活用した森林体験教育プログラムの開発による都市部住民への森林・林業への理解・親しみの醸成と新しい地域産業の振興
＜株式会社boonboon(特定非営利活動法人多摩源流こすげ、東京農業大学多摩川源流大学プロジェクトと共同実施)＞
- 3) 地上型レーザーキャナーによる効率的な収穫調査と素材生産現場への活用方法の提案
＜国立研究開発法人 森林研究・整備機構＞
- 4) 国産早生広葉樹の優良種苗の生産技術の開発～フィードバック型林業の具現化のために～
＜全国天然木化粧合単板工業協同組合連合会(九州大学大学院農学研究院木質資源理学研究室、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センターと共同実施)＞

2 令和元年度事業の新規採択

森林を活用した障害者・高齢者の保健休養及びレクリエーションの今後の展開方向に関する実証的調査事業

＜一般社団法人 全国森林レクリエーション協会(特定非営利活動法人森林保健学会と共同実施)＞

- ・障害者等の森林活用の現状、森林の活用が及ぼす影響等を調査し、効果的な利用プログラムの開発・実証、活動を支援する人材の育成及び体制づくりの検討等に取り組む。
- ・成果を普及書にとりまとめ、障害者等の森林を活用した保健休養、森林レクリエーション、森林スポーツ(「森林パラレクリエーション」という。)を普及する。

問い合わせ先 (一財) 日本森林林業振興会
〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル6階
(一財) 日本森林林業振興会 石田、坂井、千葉
TEL: 03-3816-2471
E-mail: kikakukoubol7@center-green.or.jp